

2007年「よくわかる福岡の歴史」古代史
古墳時代の国際環境と北部九州 ①
「宗像・沖ノ島における国家的祭祀の背景」

講師 西 谷 正

1はじめに

2沖ノ島における祭祀の諸段階

- (1) 岩上遺跡
- (2) 岩陰遺跡
- (3) 半岩陰半露天遺跡
- (4) 露天遺跡

3沖ノ島における祭祀の背景

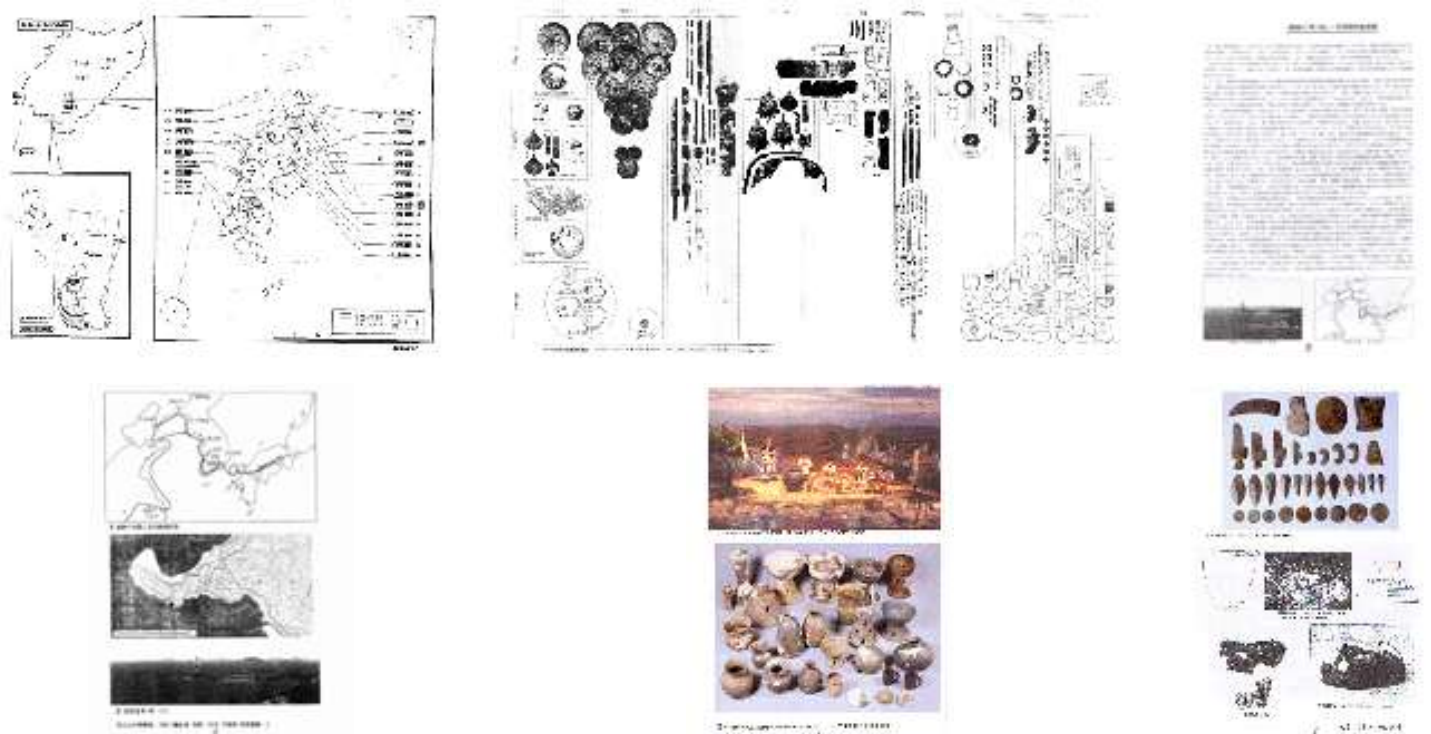
- (1) 胸形君と沖ノ島
- (2) 国家的祭祀

4韓国の「沖ノ島」—竹幕洞祭祀遺跡

5おわりに



【資料】





- 沖ノ島の祭祀遺跡と同じような遺跡が韓国でも発見され、出土物も酷似している。模造品の材質が違う点もあるが、同じ祭祀を共有しており、北部九州と韓国との強いつながりを意味すると指摘した。
- 遺跡の年代を岩上遺跡、岩陰遺跡、半岩陰半露天遺跡、露天遺跡の時代に分け、初期は胸形君などの北部九州の勢力が中心になって、祭りを行っていたが、順次、中央政権による祭へと変化していったと結論付けた。
- 会場いっぱいの受講者で、熱気あふれる講義だった。

[福岡歴史研究会](#)

[TOP>>>](#)

[一覧](#)

[戻る](#)